

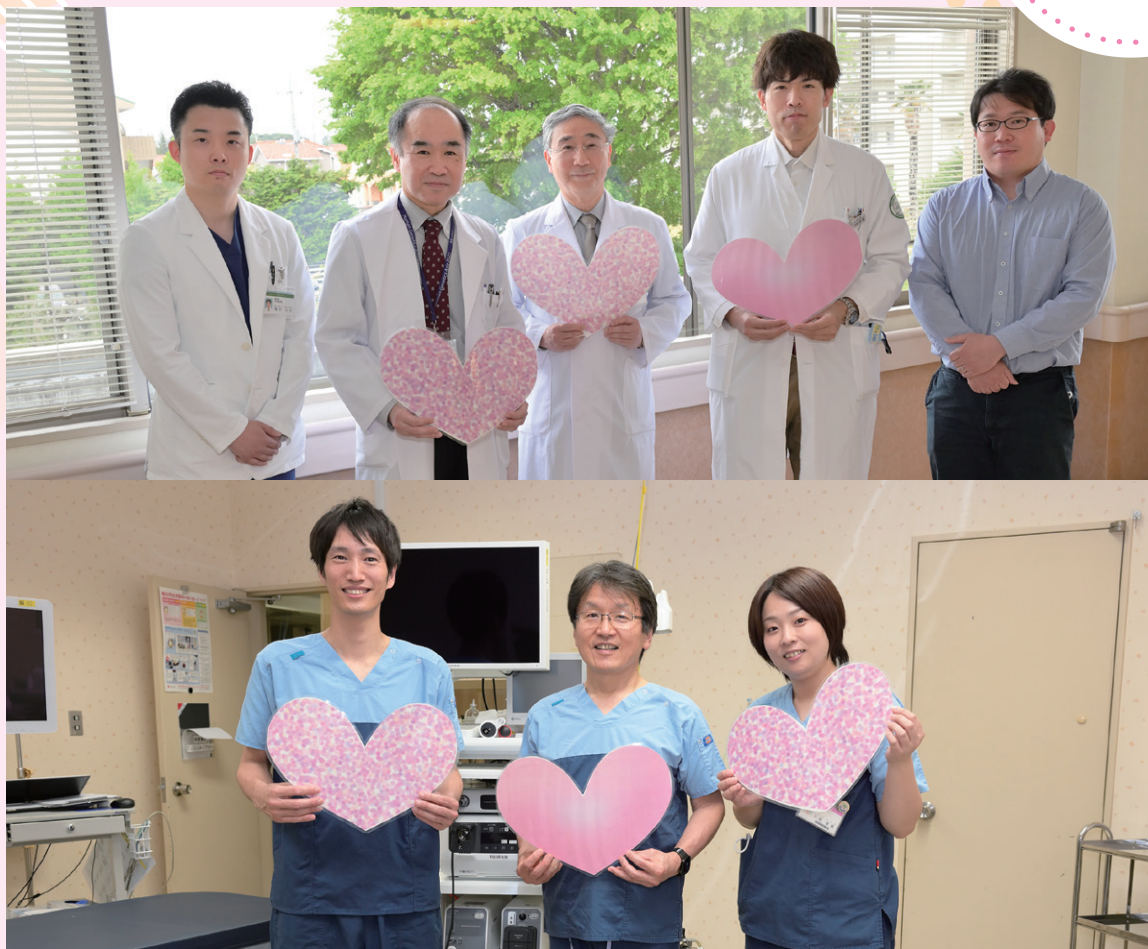


地方独立行政法人

栃木県立がんセンター

Tochigi Cancer Center

5月号
2025



がんセンターだより

あいの こころ

Philosophy
Art
Humanity

- P.1 ・副病院長のご挨拶
- P.2 ・がん相談支援センターのご紹介
- P.3 ・大腸骨盤外科 新体制のご紹介
- P.4 ・消化器内科 新体制のご紹介
- P.5-6 ・新任医師のご紹介



とちまるくん © 栃木県

副病院長のご挨拶

このたび、2025年4月より副病院長を拝命いたしました、肝胆膵外科の富川盛啓と申します。

私は1993年より2年間、当センターでレジデントとして研修を積んだ後、大学病院などでの勤務を経て、1999年5月より外科常勤医として当センターに着任し、以来、肝胆膵外科の診療に従事してまいりました。この間、医療を取り巻く環境は大きく変化し、特に外科領域では、鏡視下手術からロボット支援手術への移行が急速に進むなど、診療技術は大きく進歩しております。また、新たな薬物療法や放射線治療、ゲノム医療の登場により、がん診療はこれまで以上に高度化・個別化が進んでいます。

当センターは、栃木県における都道府県がん診療連携拠点病院として、これらの新しい医療技術を積極的に取り入れ、地域の医療機関の皆様と連携しながら、県民の皆様に最良の医療を提供できるよう日々努めております。また、コロナ禍を経て、「県立病院」としての社会的責務を改めて認識し、多様化する医療ニーズや社会情勢の変化にも柔軟に対応すべく、現在、診療機能の見直しにも取り組んでおります。今後も、患者さんお一人おひとりと真摯に向き合い、栃木県立がんセンターが県民の皆様信頼され続ける医療機関であり続けられるよう、副病院長として全力を尽くしてまいります。

今後とも、変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



理事兼副病院長
富川 盛啓



副病院長
横島 一彦

副病院長を拝命しております、横島一彦です。平素より、当センターの地域連携活動にご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今後とも「地域連携の推進」に努めてまいりますので、引き続きご支援・ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

当センターに赴任してからの5年間、頭頸部腫瘍・耳鼻咽喉科科長、および希少がんセンター長として、一時中断していた頭頸部がん診療体制の整備に取り組み、臨床業務に専念してまいりました。その間、医療を取り巻く環境は急速に変化を遂げています。COVID-19の流行を経験し、がん診療に特化するだけでなく、新興感染症への備えも整える必要がありました。また、急激な物価高騰は当センターの経営にも影響を与えており、診療体制の見直しと改革が求められています。しかし、このよう

な環境下にあっても、全職員が一丸となって「質の高い医療の提供」に取り組んでおります。専門分野を深めるとともに、他部署との連携を重視するという当センターの特長を最大限に活かし、病院全体の調和と発展に努めていきたいと考えております。なお、今年度からは新たに医療安全推進室 室長も兼務することとなりました。医療には常に万一の事故のリスクが潜んでいることを十分に認識し、引き続き「安心・安全な医療」の実現に尽力してまいります。

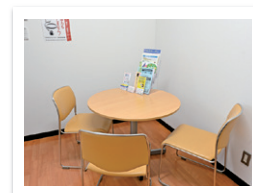
今の気持ち、話してみませんか？ がん相談支援センターが力になります

がん相談支援センターってどんなところ？

「がん相談支援センター」は、全国にある、がんに関する相談窓口です。どこのお住まいでも質の高いがん医療が受けられるように、厚生労働大臣が指定した「がん診療連携拠点病院」などに設置されています。

がん相談支援センターには次のような特徴があります

- ・ご本人やご家族はもちろん、どなたでも無料で相談できます。
- ・がん相談支援センターのある病院に通ってなくても相談できます。
- ・保健師、ソーシャルワーカーなどが相談員として対応しています。
- ・窓口の対面だけでなく、電話でも相談できます。
- ・匿名でも相談できます。
- ・相談内容は、本人の了解なしに主治医をはじめ他の人に伝えることは決してありません。



どんな小さなことでも相談できます

「こんなことを聞いてもよいのだろうか…」と思うようなことが、治療や生活、仕事の継続などを考える上で、実は重要だったりします。最初はぼんやりとした不安や疑問でも、話をすることで問題が明確になったり、あなたが何を大切にしたいのかということに気付いたりします。

がん相談支援センターでは、皆様の「困った」「どうしよう」の解決の糸口を相談員と一緒に考えていきますので、お気軽にご相談ください。

みんなに知ってほしい!がん情報の探し方!



情報がほしいと思ったときに、「どうやって調べたらいいんだろう?」と思ったことはありませんか?
情報を集めるときのポイントをお伝えいたします。

主治医は、一番大切な情報源です

主治医は、皆様の診断や治療に関してもっとも重要な情報源になります。まずは主治医の説明をよく聞き、知りたいことは遠慮せずに聞いてみましょう。

特に確認したいのは、「正確ながんの名前」「そのがんの詳しい性質」「がんの広がり(病期/ステージ)」です。

■主治医と話すときのポイント■

- ①あとから見直せるようにメモをとりましょう
- ②質問リストをまとめておきましょう

「がん情報サービス」を検索してください

インターネットで情報を探すときには、「確かな」入り口から入ることが大切です。その代表として国立がん研究センターが運営するウェブサイト「がん情報サービス」がおすすめです。



がん情報サービス



「がんの冊子」シリーズもあります

がん情報サービスでは「がんの冊子」も提供しています。

当院では、がん相談支援センター受付横に設置してありますので、ご希望の方は、相談員にお声かけください。



「地域のがん情報」はこちら

「がん情報とちぎ」はがんに関する栃木県内の情報を紹介しています。地域の医療情報としてご活用ください。

がん情報とちぎ



確かな情報源から自分に合った情報を探すことが大切です。
がん相談支援センターが、皆様に必要な情報を探すお手伝いをします。



お問い合わせ先

栃木県立がんセンター がん相談支援センター

☎028-658-6484(直通) 受付時間/平日8:30~17:00

大腸骨盤外科が新体制になりました

🌸 新任大腸骨盤外科科長の紹介

前任地である自治医科大学附属さいたま医療センターより、大腸骨盤外科およびがん予防・遺伝カウンセリング科の科長（兼任）として赴任してまいりました、宮倉安幸と申します。出身は埼玉県ですが、1993年に弘前大学を卒業後、自治医科大学にレジデントとして入職し、それ以来32年間、栃木県に在住しております。日光連山の山並みに心癒され、カンセキスタジアムで栃木SCを応援する、すっかり栃木県民となりました。日々の診療に追われる中でも、スポーツジムで持久力と筋力を鍛え、手術に必要な体力の維持に努めております。

🌸 診療科の紹介と体制について

大腸骨盤外科は、小腸や大腸（結腸・直腸）といった腹部から骨盤にかけての臓器を対象とし、主に大腸がんなどの悪性疾患に対して、手術を中心に総合的な診療を行っている診療科です。悪性疾患は、進行した状態で見つかることも少なくないため、化学療法（抗がん剤）や放射線治療を併用し、根治を目指す集学的治療も行っております。診療体制は、私を含めた常勤医師3名（豊田医師・中西医師）と、非常勤の藤田医師の計4名で構成されています。いずれの医師も外科学会・消化器外科学会・大腸肛門病学会の専門医あるいは指導医であり、各種治療に精通し、高度な技術を有する大腸骨盤外科医の集団です。どうぞ安心して治療をお任せください。

🌸 診療の特徴

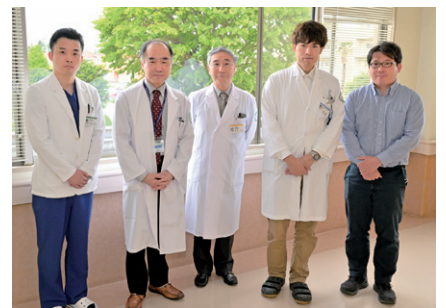
大腸がん診療は日進月歩で進化を遂げています。これまで腹腔鏡手術が低侵襲手術の代表とされてきましたが、近年ではロボット支援下手術が主流となりつつあります。当科では、内視鏡外科学会が認定する「内視鏡外科技術認定医」や、「ロボット手術プロクター（指導医）」が中心となり、現在では大腸がん手術の8割以上をロボット手術で行っています。また、直腸がんにおいては、日本の治療ガイドラインに加え、欧米のガイドラインも取り入れ、術前化学療法や放射線治療を組み合わせた先進的な集学的治療を提供しています。このような治療により、一部の患者さんではがんが完全に消失し、手術を行わず経過観察とすることも可能になってきています。特に、永久的な人工肛門が必要とされる可能性のあった患者さんが、人工肛門を回避できているケースもあり、非常に大きな成果と考えております。さらに、化学療法においては新規薬剤の導入を迅速に行い、患者さんの遺伝情報に基づいた最適な個別化治療を実施することで、施設全体としての治療成績の向上にも努めています。

🌸 今後の抱負

本稿では詳述しておりませんが、がん予防・遺伝カウンセリング科も兼任しており、遺伝情報を活用した大腸がん予防、および遺伝性疾患をお持ちの方々への心理的支援にも積極的に取り組んでまいります。ロボット手術・集学的治療・化学療法・遺伝診療といった総合的な診療を通じて、栃木県の皆様の大腸がん医療に貢献していきたいと考えております。がんセンターの皆様、そして栃木県の皆様、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



ロボット支援下手術写真

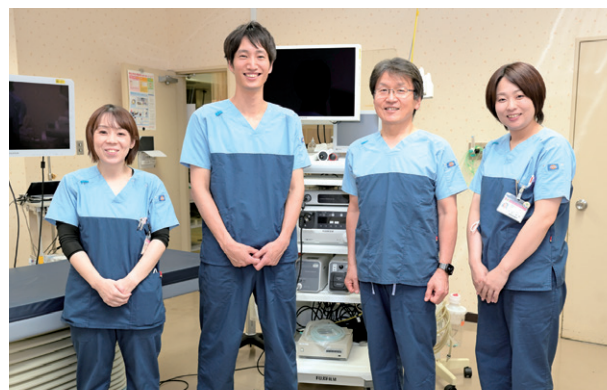


大腸骨盤外科集合写真(左から2番目: 宮倉医師)

消化器内科が新体制になりました

🌻 消化器内科 新体制のご紹介

長年にわたりがんセンターの内視鏡診療を支えてこられた小西潤先生に代わり、自治医科大学消化器内科より赴任いたしました橋元幸星と申します。2011年に自治医科大学を卒業後、出身地である高知県に戻り、へき地医療に従事する中で、がんの早期発見の意義や重要性を強く実感いたしました。特に、早期胃がん・大腸がんに対する内視鏡治療の有効性に深い関心を抱き、同分野で世界的に著名な恩師・山本博徳教授が在籍する自治医科大学消化器内科に戻りました。自治医科大学附属病院およびその関連病院にて、内視鏡治療や炎症性腸疾患を中心に研鑽を積み、この4月よりご縁をいただき、がんセンターの内視鏡診療を担当することとなりました。現在、当科は引き続き常勤医1名体制ではありますが、自治医科大学からのご支援を受けつつ、来年度以降の人員体制の充実を目指し取り組んでまいります。



消化器内科集合写真（中左：橋元医師 中右：山本教授）

🌻 安心・納得できる説明と質の高い治療を提供します

内視鏡による早期がん治療は、比較的安全性が高く、患者さんへの負担が少ない低侵襲治療です。ただし、適応には限界があり、注意が必要な偶発症も存在します。こうした特性をご理解いただくために、治療のメリット・適応範囲・限界について丁寧にご説明し、ご納得のうえで安心して治療に臨んでいただけるよう努めてまいります。また、入院後には、担当看護師によるケアに加え、内視鏡治療専属の看護師による治療の流れのご説明や、管理栄養士による退院後の食事指導など、チーム医療を通じて患者さんご家族の不安を軽減できるようサポートしていきます。治療の際には、今年3月まで自治医科大学消化器内科教授を務めておられた山本博徳医師をお迎えし、基本的に2名体制で治療にあたります。山本医師は、2000年以前より早期消化管がんの内視鏡治療に尽力され、現在のゴールドスタンダードである「内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）」を確立し、世界をリードしてこられた先生です。ESDが保険適用となる以前から、国内外の学会やライブデモンストレーションを通じて、その普及に貢献し続けておられます。私自身も、山本医師の助手として、国内の歴史ある研究会「Endo-skill Update」や「TOKYO Live」、さらには国外でのライブにも参加し、非常に貴重な経験を重ねてまいりました。今後も山本医師と連携し、常に技術の向上を図り、より安全で安心、かつ質の高い治療を提供できるよう日々努力してまいります。

🌻 当科での内視鏡治療のご紹介

当科におけるESD治療の基本戦略は「ポケット法」という手法です。これは病変部位を問わず、安定した視野の確保、出血の抑制、きれいで質の高い切除検体（癌を含む病変部）の取得を目的としています。さらに近年では、この方法に加え、生理食塩水をウォータージェットポンプにより注入し、腸管内に留置したドレナージチューブから持続的に排液する「灌流法（かんりゅうほう）」を用いることで、水の浮力や水流を活用し、より安全かつ効果的な剥離と視野確保が可能となっています。非常にユニークで実用的な手法であると実感しております。

近年の治療実績

年度	上部消化管ESD	下部消化管ESD	下部ポリープ切除
2023年度	71件	25件	649件
2024年度	72件	14件	502件

新任医師のご紹介

2025年4月から
新たに着任した医師をご紹介します。
どうぞよろしくお願いします。

名前 前 畑野 かおる (はたの かおる)
診療科・役職 血液内科
趣味 昼寝
出身大学 宮崎医科大学

よろしくお願いします。



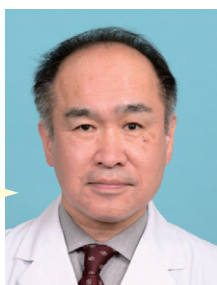
名前 前 橋元 幸星 (はしもと こうせい)
診療科・役職 消化器内科
趣味 子どものバスケの試合を見ること
出身大学 自治医科大学 (高知県出身)

早期消化管癌の質の高い内視鏡診断・治療をしっかりと出来るように頑張っています。



名前 前 宮倉 安幸 (みやくら やすゆき)
診療科・役職 大腸骨盤外科
趣味 トレーニング、スポーツ鑑賞、スキー
出身大学 弘前大学医学部、自治医科大学大学院卒業

大腸骨盤外科、がん予防・遺伝カウンセリング科を担当します。ロボット手術や遺伝性疾患の患者さんへのカウンセリングなど両領域の専門医として貢献したいと考えています。



名前 前 梅田 翔太 (うめだ しょうた)
診療科・役職 呼吸器外科
趣味 子供とのお出掛け、旅行、食べ歩き
出身大学 獨協医科大学

4月から赴任いたしました。よりよい医療を提供できるようにスタッフの一員として頑張ります。よろしくお願いいたします。



名前 前 菊池 春花 (きくち はるか)
診療科・役職 骨軟部腫瘍・整形外科
趣味 旅行、筋トレ
出身大学 東京医科大学

患者さんのためにがんばります。



名前 前 倉科 凌 (くらしな りょう)
診療科・役職 泌尿器科
趣味 旅行
出身大学 獨協医科大学

精一杯治療させていただきます。



名前 前 吉田 茉樹 (よしだ まき)
診療科・役職 泌尿器科
趣味 ゴルフ、旅行、サウナ
出身大学 獨協医科大学

4月から泌尿器科としてお世話になる吉田です。至らない点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



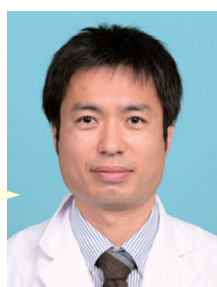
名前 前 山本 朱子 (やまもと あかね)
診療科・役職 婦人科
趣味 山登り
出身大学 東京医科大学

半年と短い期間ではありますが、患者さんと先生方から多くのことを学ばせていただき、スキルアップできるよう頑張ります。



名前 前 馬場 大輔 (ばば だいすけ)
診療科・役職 頭頸部腫瘍・耳鼻咽喉科
趣味 宇宙の七不思議
出身大学 東北大学

医学的に最善の治療を考えるのはもちろん、治療を受ける方の思いや価値観も大切に、共に歩む医療を目指しております。



名前 前 清家 尚真 (せいけ なおまさ)
診療科・役職 頭頸部腫瘍・耳鼻咽喉科
趣味 自然観察
出身大学 北里大学

患者さんの為に精一杯務めさせていただきます。



当センターへのお問い合わせ

(代表)

028-658-5151

ご予約は以下の窓口までご連絡ください

予約センターのご案内

予約専用電話

028-658-5012

予約受付時間



平日 8:30 - 16:30

予約時にお聞きすること

① 診察券番号(受診歴がある方のみ)

② 受診科と医師名

③ ご希望の日時

※当センターは、初診、再診ともに予約制となっています。予約センターに電話のうえ、受診日をご予約ください。また、予約枠に制限があり、ご希望に添えない場合もあります。予めご了承ください。

～当日、患者さんにお持ちいただくもの～

- ☐ 保険証またはマイナンバーカード、各種医療証
- ☐ 診療情報提供書(紹介状)

- ☐ 各種検査結果、画像データ(お持ちの方のみ)
- ☐ お薬手帳(お持ちの方のみ)
- ☐ 当センターの診察券(お持ちの方のみ)

● 病診連携に関するお問い合わせ

地域連携チーム

028-611-5503

平日 8:30 から 17:15

● がんに関するご相談

患者総合支援センター・
がん相談支援センター

028-658-6484

平日 8:30 から 17:00

● がんの遺伝カウンセリングや、ゲノム医療についての予約やお問い合わせ

ゲノムセンター

028-611-5480

平日 8:30 から 17:00

セカンドオピニオン外来のご案内

■ 平日午後

	月	火	水	木	金
消化器外科	主に胆・膵		菱沼 正一		
	主に肝		尾澤 巖		尾澤 巖
	主に大腸	宮倉 安幸※2		大腸・骨盤外科医師	
	主に食道・胃			松下 尚之 藤田 剛 林 雅人 (交代制※1)	
頭頸部腫瘍・耳鼻咽喉科				横島 一彦	横島 一彦
骨軟部腫瘍・整形外科	菊田 一貴				

※1 第1週: 松下 第2週: 藤田 第3週: 林 第4週: 松下 第5週: 藤田 ※2 第3週

予約センター | 028-658-5012(直通) 受付時間 平日 8:30 から 16:30

当センターは
紹介受診重点医療機関
に指定されています

他の医療機関からの診療情報提供書(紹介状)を持たずに外来受診する場合「特別の料金(選定療養費)」がかかります。

初診 7,700 円

※緊急、その他やむを得ない事情がある場合には、「特別の料金」を徴収しないことがあります。



交通のご案内

電車・バス

- JR宇都宮線「宇都宮駅」より
⇒西口から関東バス「江曾島行(11番のりば)」に乗車。「がんセンター前」で下車。横断歩道を渡る。徒歩1分。(乗車時間約25分)
- 東武宇都宮線「江曾島駅」より
⇒東口から関東バス「JR宇都宮駅行」に乗車。「がんセンター前」で下車。徒歩1分。(乗車時間約5分)

自動車

- 東北自動車道「鹿沼I.C.」より
⇒東北自動車道「鹿沼I.C.」より宇都宮方面へ。「滝谷町」交差点を右折南進し、JR陸橋を超え3つ目の信号「八千代1丁目」を左折。(約9.4km)
⇒東北自動車道「鹿沼I.C.」より宇都宮方面へ。「宮環鶴田陸橋」を右折。「下砥上町」アンダーに入ってすぐ江曾島方向へ左折し7つ目の信号を左折。(約8.2km)

あいの
Philosophy
and
Humanity
こころ vol.37

5月号
2025年
5月25日発行

発行 地方独立行政法人栃木県立がんセンター 広報広聴センター
〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南4-9-13
TEL: 028-658-5151(代) FAX: 028-658-5669

がんセンターの情報は

栃木県 がん

検索

URL <https://www.tochigi-cc.jp>

